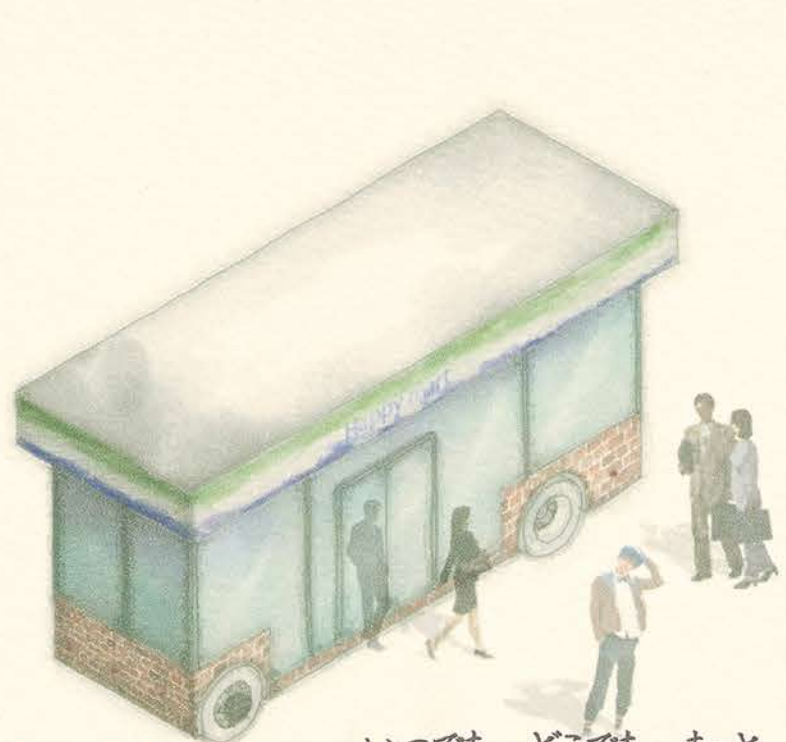
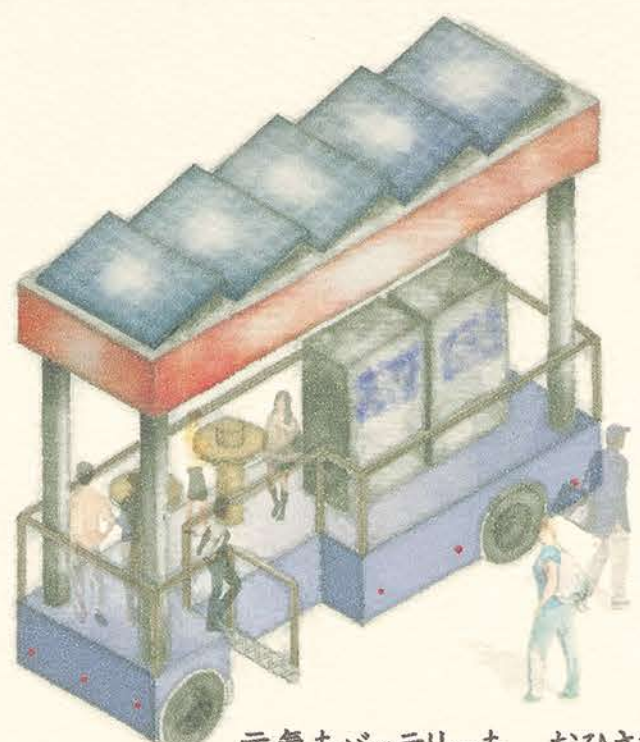




いつでも、どこでも。もっと、便利に。

C ミセMA

ないと思うもの、ちょっと足りないもの、買えます。
・コンビニ店舗数：53,554店(2015.12)
・買い物客：約700万人(1/26)



元気もバッテリーも、おひさまで充電。

G エコMA

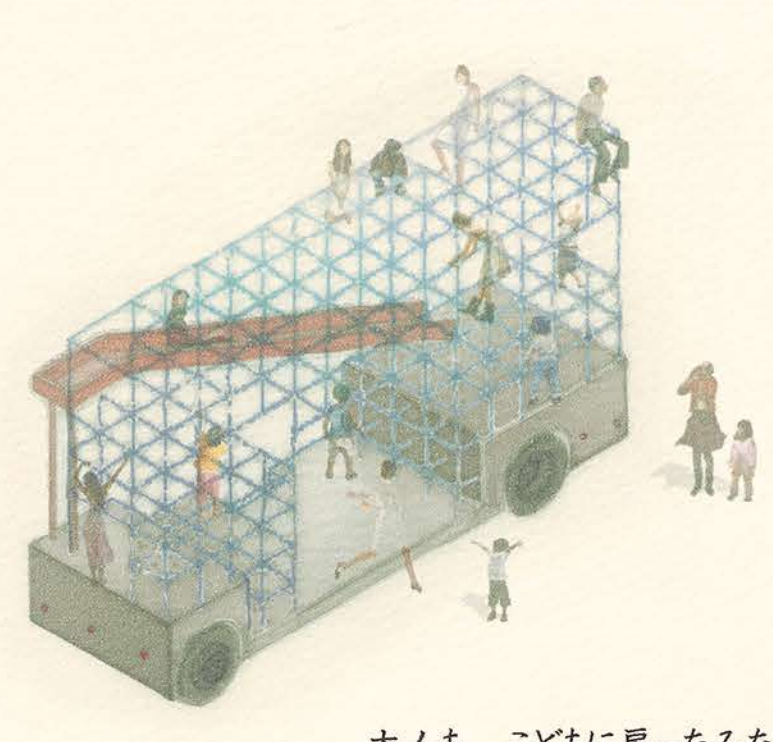
スマホやタブレットを充電しながら次の目的地へ。
・発電能力に占める再生可能エネルギーの割合：5%(2012)
・再生可能エネルギーによる発電容量：3000万kW(2013年度)



パパ、ママ、ぼくがお迎えにいくよ。

W イクMA

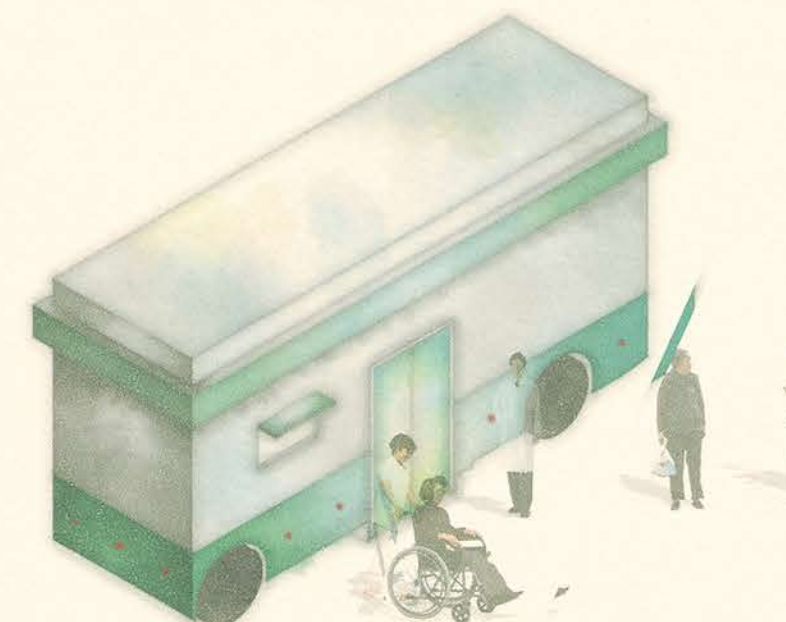
1時間でも、1日でも。お子様をお預かりします。
・保育所数：24,038ヶ所(1/25.4)
・日本人の総人口：約127,881万人(1/25.4)
・保育所定員数：約228万8819人(1/25.4)
・保育所待機児童数：22,741人(1/25.4)



大人も、子どもに戻ってみたい。

H トレMA

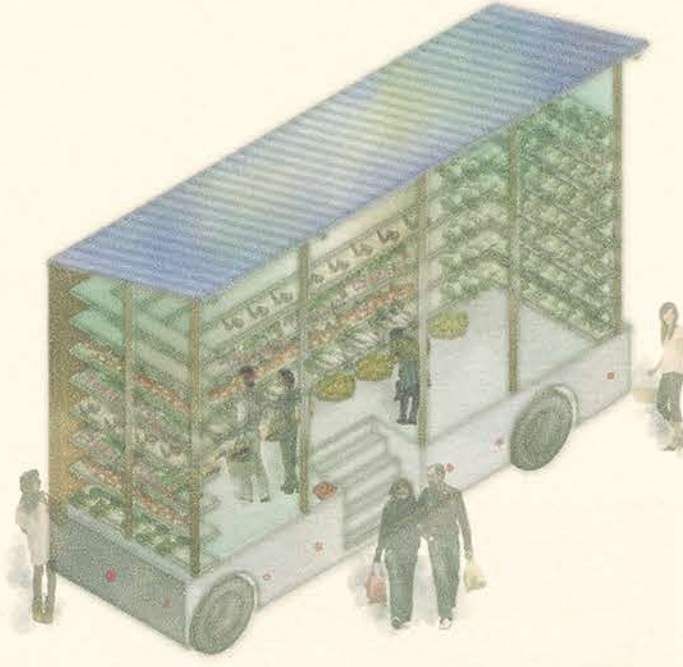
運動の基本を身に付けて、身体能力を向上。
・子どもの肥満率：男子22.6%、女子25.4%
・子どもの体力低下：基本的な身体能力が落ちている子供の急増(2007)
・子どもの体力低下：外遊びの時間が大幅減(2013年度)



小さなことでも、治療します。

W ナオシMA

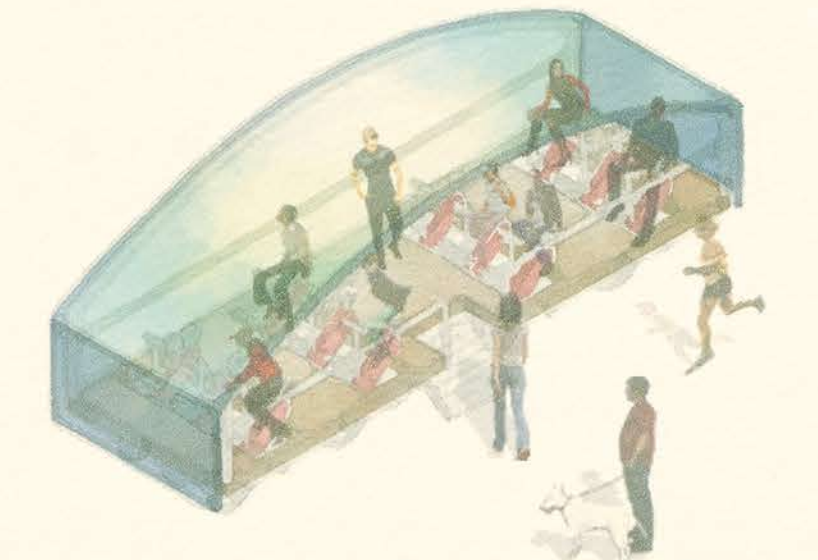
保健室以上、救急車未満。健康の不安を取り除きます。
・保健室数：637箇所(1/26年度)
・保健室利用率：12万4122人(1/26年度)
・全国の平均における1日平均入院患者数：126万1181人(1/26年度)



まちのみんなで気軽に農業。

C ヤオヤMA

植物工場野菜を育て、新鮮野菜を販売します。
・農業従事人口：335万人(1/17.10年度で19.0%減少)
・農業従事人口に占める65歳以上の割合：57.0%(1/17)
・健康維持に必要な野菜の摂取目標量：350g以上(成人1日当たり)



滑いで、滑いで、滑ぎまろう。

H チャリMA

乗客が滑くバイクの推進力でMAを動かします。
・日本人の総人口：約127,881万人(1/25.4)
・消費カロリー：男性(体重65kg)：307kcal/30分
・女性(体重52kg)：246kcal/30分



“MOTTAINAI”

G アツメルMA

家庭から排出されるゴミを回収して再資源化します。
・一般廃棄物のリサイクル率：20.6%(1/26年度)
・一般廃棄物のリサイクル率：約13.4%(1/23)
・資源物のリサイクル率：約11.3%(1/23)



気持ちを伝える。気持ちは伝わる。

R トドキMA

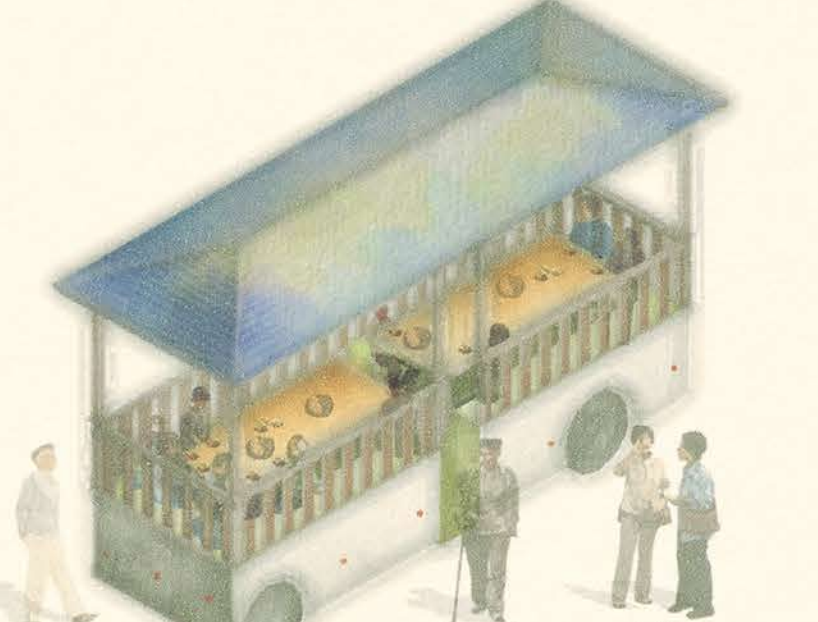
手紙を書いて送ったり、郵便物を集配しながらまちを走ります。
・郵便物引取数：約220億3562万通・個(1/27)
・郵便差出箱数：18万2839個(1/25)



物語を探しに行こう。

W トショMA

持ち寄った不要物をまちのみんなで見捨てます。
・古紙回収量：2000万トン(2015)
・不要品回収数：6365冊(2012年4月・12月)



話そう、もっと、まちのこと。

R ツドイMA

居合わせた人とおしゃべりしながらホットできるまちの居間。
・伝統的な近隣住民交流(自治会、町内会等)：296,700(2003)
・自治会等への参加率：市に数回参加：参加していない：87.3%(1/2003)
・近隣住民の行き来が少ない、ほとんどない、当てはまる人がいない：59.1%(2007)



きょう、なにを着よう？

C フクMA

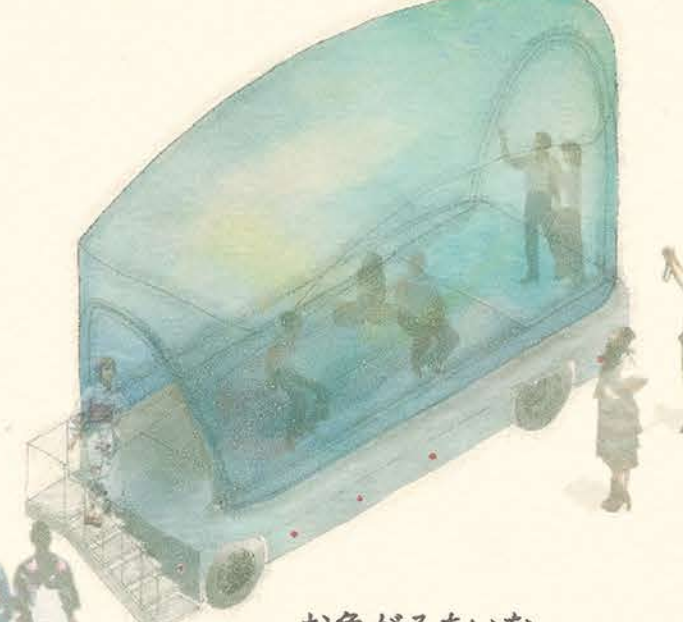
着なくなった服を交換し合う、まちのクローゼット。
・1年間に交換される衣料品：942万トン(1/23)
・衣類のリユース率：約13.4%(1/23)
・衣類のリサイクル率：約11.3%(1/23)



大丈夫だよ、あなたを守るから。

W シェルMA

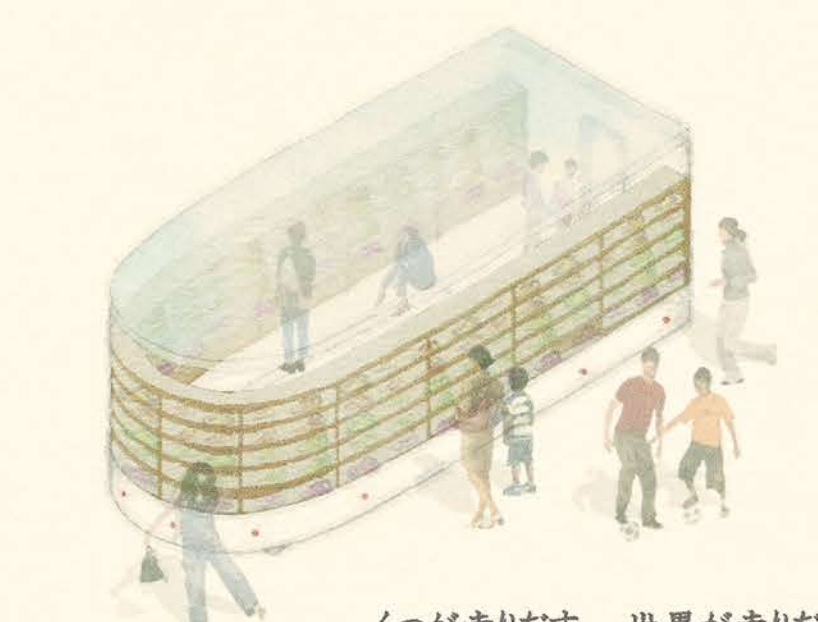
災害時、シェルターになってあなたを守ります。
・世界に生きている魚の総数：約19074、75万頭(2013年)(1/26.9)
・関東・東北豪雨による被害：死者6名、負傷者49名(2015)



お魚がみたいな。

G ウミMA

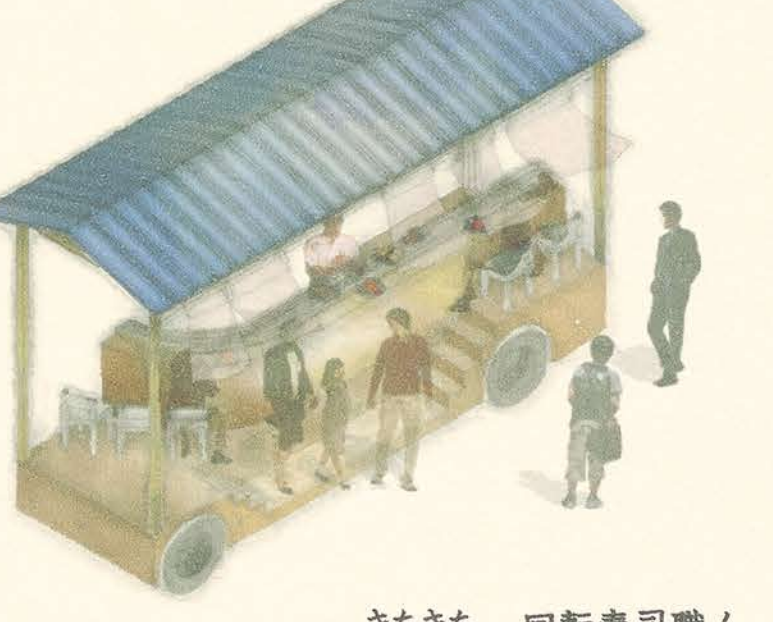
絶滅危惧種の魚を映写し、生物多様性の大切さを伝えます。
・世界に生きている魚の総数：約19074、75万頭(2013年)(1/26.9)
・絶滅危惧種(魚類)：2,222種(2011)



くつが走ります。世界が走ります。

C ランMA

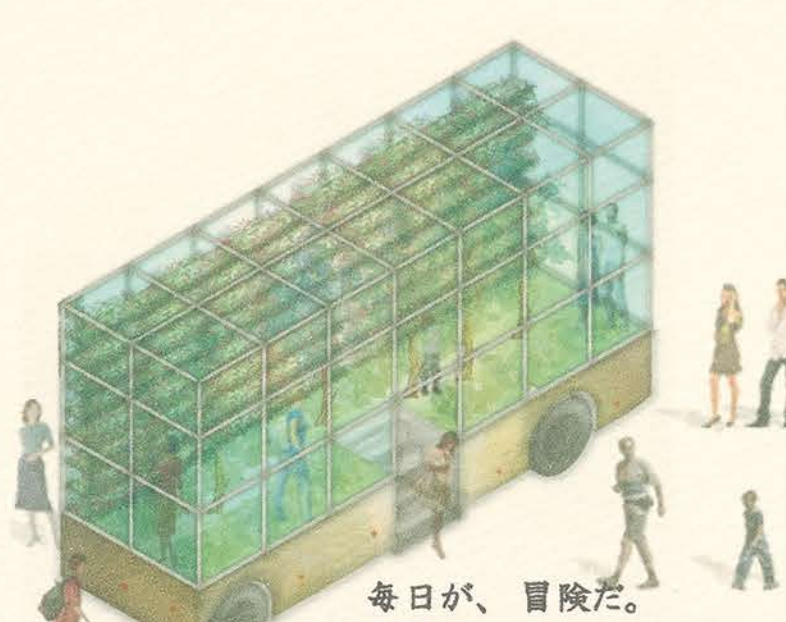
おうちでぬわっている靴をまちから世界へ寄付。
・靴を5足以上持っている人：30.7%(2013.12)
・足に合わない靴を放置している人：30.2%(2013.12)
・ケニア・マラウイ共和国に寄付された運動靴：6335足(2014-2016.3)



きたきた、回転寿司職人。

C スシMA

まちを回転する、回転寿司。
・寿司屋の総数：約53120店(1/26年度)
・寿司屋の総数：約53120店(1/26年度)
・外食の1割を占める寿司の消費額：1,4517円(2005)



毎日が、冒険だ。

G モリMA

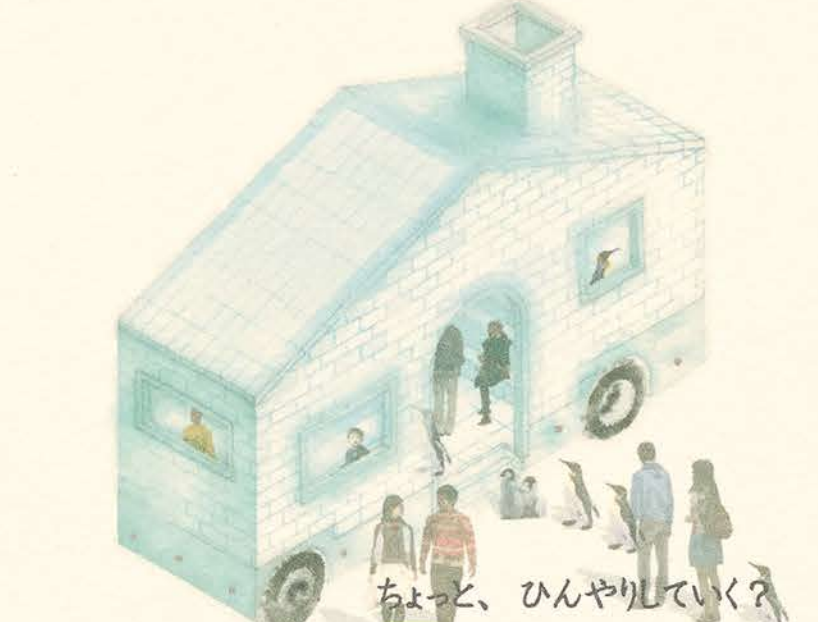
排気利用により熱帯植物を育て、CO2排出量ゼロへ。
・温室の総面積：最大381万㎡(2014.4.30)
・温室の総面積：最大381万㎡(2014.4.30)
・森林が吸収するCO2：1トンあたり10トン(2014)
・森林が吸収するCO2：1トンあたり10トン(2014)



Japan is beautiful.

W チャノMA

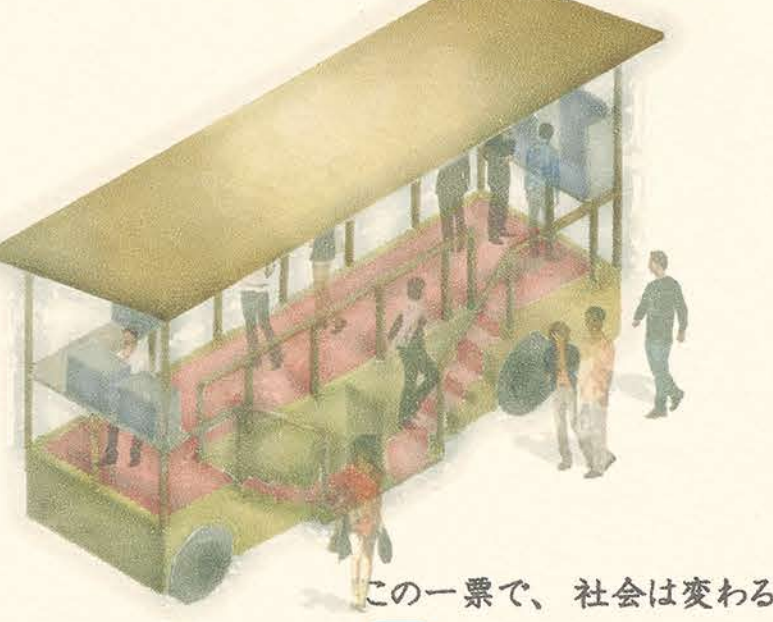
伝統に触れ、歴史文化の理解を深め、日本への愛着を育みます。
・国宝(建築物)：228(2012.8.1)
・重要文化財(建築物)：2,456(2012.8.1)
・登録有形文化財：10,715(1/28.9.1)
・登録有形文化財：10,715(1/28.9.1)



ちょっと、ひんやりしていく？

G コオリノMA

気化熱によりエネルギー消費ゼロでまちをクールダウン。
・気化熱の総量：約10℃低下(1/26年度)
・気化熱の総量：約10℃低下(1/26年度)
・気化熱の総量：約10℃低下(1/26年度)
・気化熱の総量：約10℃低下(1/26年度)



の一票で、社会は変わる。

W ミライノMA

忙しい人も、投票所まで行けない人も投票できます。
・国民投票の投票率：約53.1%(2014)
・国民投票の投票率：約53.1%(2014)
・国民投票の投票率：約53.1%(2014)
・国民投票の投票率：約53.1%(2014)

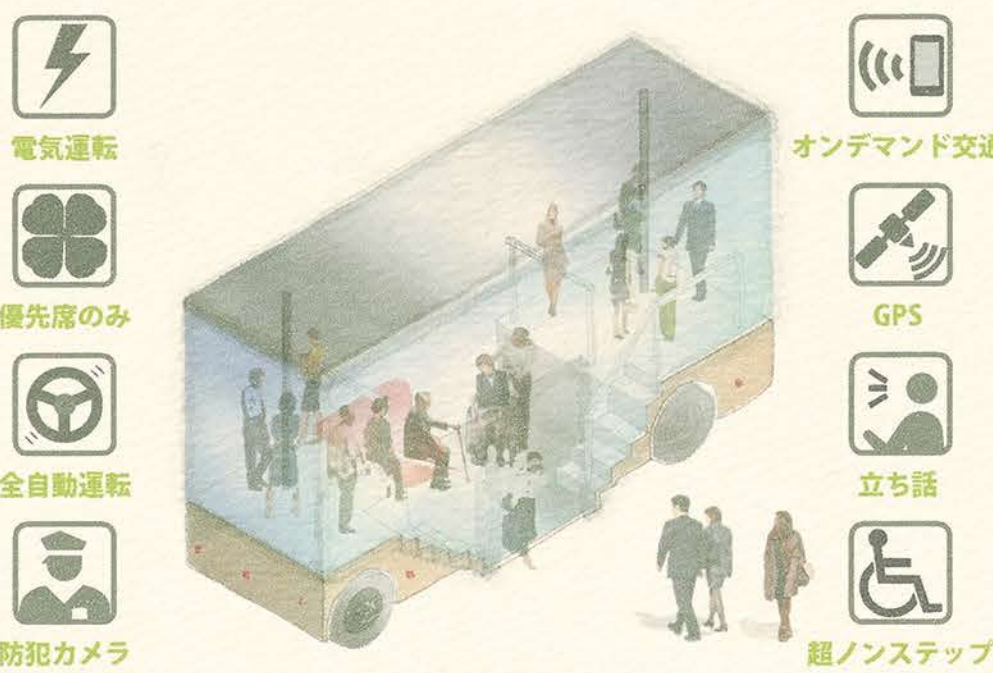
*上記の統計データは、総務省、厚生労働省、環境省、文部科学省、経済産業省、農林水産省、国土交通省、文化庁、林野庁、消防庁、内閣府、日本放送協会、日経新聞、その他研究機関や企業技術情報より引用しました。

00. すべてが動き、錯綜する未来

その日、まちのすべてが動き出します。

今まで地域を巡り、まちを紡いだ媒体としてのコミュニティバスは、主体化し、多様な機能を持つ目的としての移動空間へと変貌します。急いでいる人/余暇を楽しむ人/疲れている人...多様な人々が錯綜する内部では、多様化した機能もともに、人と人との偶発的なコミュニケーションが生まれるでしょう。同時に、自動運転の採用により、運転手としての“ホスト”を失うことで、利用者同士が互いに“ホスト”と“ゲスト”を担い合い、新たな関係を構築していきます。こうしたコミュニケーションの連鎖の中に、人と人との繋がりはうまれ、私たちのこころは健やかに保たれることでしょう。この出会いも、そういえば、あの日のバスの中。

01. 動き出す建築、RecoMA

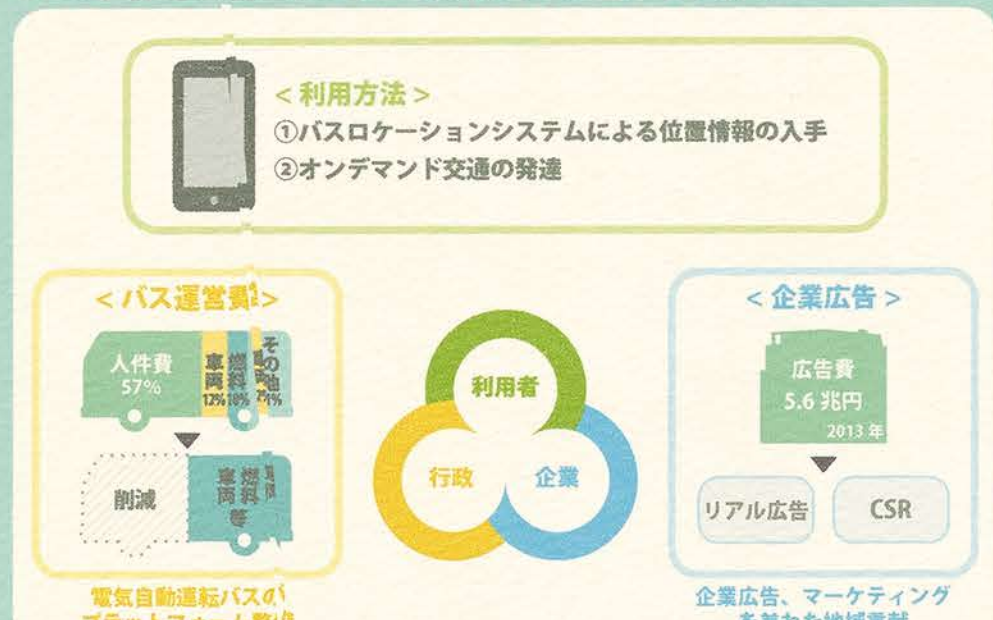


“おはよう”が行き交うところ。

O ミンナノイMA

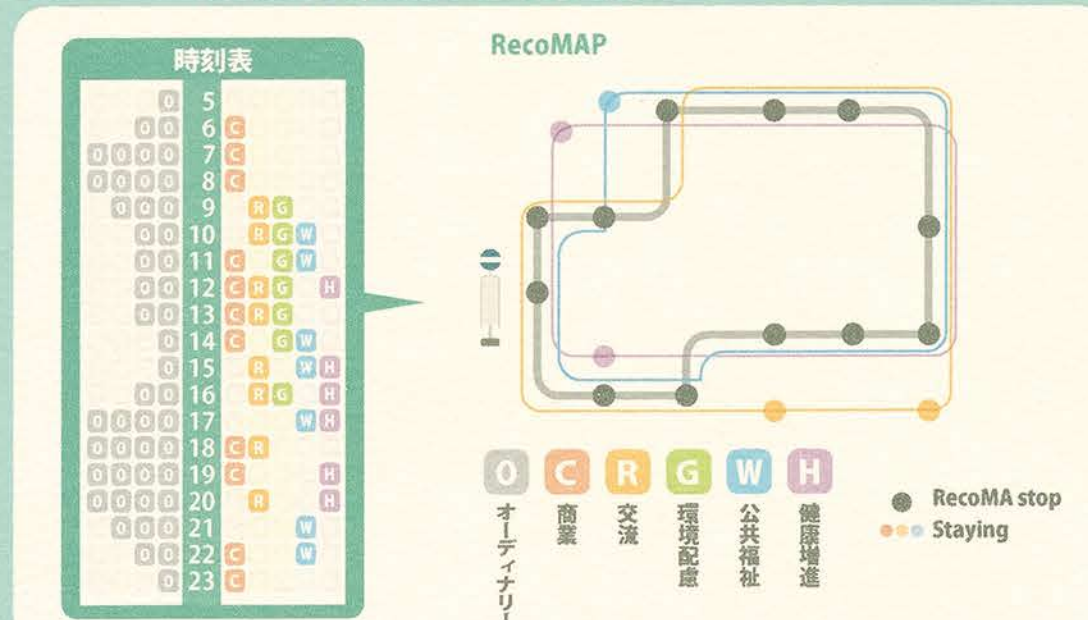
優先席だけ設けたことで、利用者同士の立ち話が始まります。
・通勤、通学時の公共交通機関利用：1637万2000人(1/12)
・通勤、通学時の公共交通機関利用：1637万2000人(1/12)
・通勤、通学時の公共交通機関利用：1637万2000人(1/12)
・通勤、通学時の公共交通機関利用：1637万2000人(1/12)

02. 自動運転による新たな運営手法



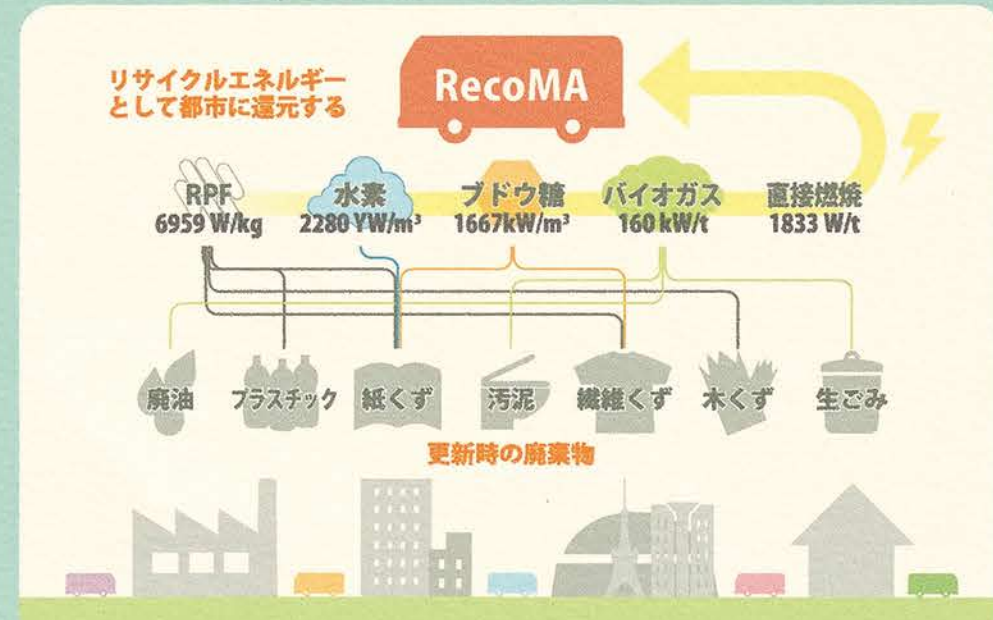
自動運転によるRecoMAは、新しいまちづくりの原初の種となります。自動運転の採用は、人々の関係性を再構築するのみでなく、現状の行政に頼りすぎた運営手法に対し、1/26年度の57%を占める人件費の削減にも繋がります。また、企業資本の投入により、さらなる多様な移動空間の提供へとつながります。そして、利用者はGPSによるロケーションシステムにより、スマホ1つでいつでもどこに出会えるかわかります。扉の向こうには、もうワクワクが来えています。

03. ニーズに呼応した運行計画



ニーズや利用頻度に対応し、種類や走行数の他、オーディナリー RecoMA との割合を変化させていく運行計画を行います。街を巡回する多様な RecoMA は、移動ついでに余暇を楽しんだり、ぐるぐると何周も乗りながら利用できます。また、巡回しながら人々を集め、ある地点でルートから離れ、都市の中で滞留し、情景のもとお茶会が始まることもあるでしょう。また、その可動性を活かし、限界集落やニュータウン、時には被災地へと、まるでサーカスのように旅をし、地域に明かりを灯します。

04. そして街は変わり始める



コミュニティバスの変革が、街をも変えていきます。住宅や都市建築から機能がRecoMAへと移行することで、たとえば住宅の機能は縮小し、都市から間引くように減築され、ゆとりをもたらししていきます。その際、廃棄物をリサイクルエネルギーへと変換し、RecoMAの運用に転生させていきます。生活の変容が都市の変容へとつながり、やがては社会の変容へとつながっていく未来。きっかけは、RecoMAから。

第30回 建築環境デザインコンペ <人のことを考える建築>

あした、まちが、動く。

RecoMA
regional eco-wealthy oving rchitecture